

家畜衛生だより

中央家畜保健衛生所
村山地域家畜畜産物衛生指導協会
〒990-2161 山形市漆山 736 番地
Tel 023-686-4410 / Fax 023-686-5715

令和5年11月発行

口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱等 防疫対策の徹底を！

国内では今年8月に九州で初めて豚熱が発生しました。また中国や韓国等の近隣国では5月に口蹄疫（FMD）が発生し、最近では韓国で9月にアフリカ豚熱（ASF）の発生があり、防疫対策の徹底が不可欠です。

特に年末年始、春節などは国内外の人・物の移動が増加することから、農場へのウイルスの侵入リスクが高まるため注意が必要です。

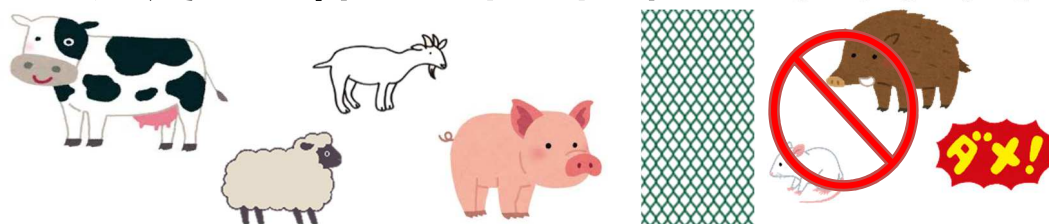
1 海外渡航の自粛！

- 特に FMD や ASF 等の発生地域への不要不急の渡航を自粛しましょう

2 消毒及び衛生管理区域への病原体持込み防止の再徹底を！

- 関係のない者を衛生管理区域・畜舎に立ち入らせない
- 手指の消毒や専用長靴の着用等、必要な対策を行う
- 野生動物の侵入防止対策（防護柵、防鳥ネット等の点検・修繕）

⇒「飼養衛生管理基準を再確認しましょう！」



3 毎日の健康観察、異状の早期発見および早期通報を！

- 飼養家畜の毎日の健康観察をしっかりと行いましょう

4 緊急時の連絡体制の確認

飼養家畜に異常が見られた場合は、中央家保まで連絡を！
中央家畜保健衛生所 023-686-4410（休日・夜間共通）

疑わしい症状は直ちに通報を！

韓国では5月に発生確認

口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、後に**泡状のよだれ**を流したり、**口、ひづめ、乳房に水疱（水ぶくれ）**ができるのが特徴です。

<A型口蹄疫ウイルスの感染実験の結果>

～牛の症状～

写真：宮崎県提供



上顎口唇潰瘍



水疱が破れている

写真：動物衛生研究部門提供

～豚の症状～



接種3日目



多数の水疱病変を確認

接種4日目



豚熱(CSF)

特徴的な症状が無く、気がつきにくい疾病です！

発熱、食欲不振、元気消失等、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸障害等
異状を発見したら直ちに通報しましょう！



耳翼の紫斑



元気がない



結膜炎

写真出典：岐阜県

重症例は後躯麻痺・運動失調・四肢の激しい痙縮などの神経症状、皮下出血による紫斑（耳翼、尾、腹部、内股部）を呈し死亡。

アフリカ豚熱(ASF)

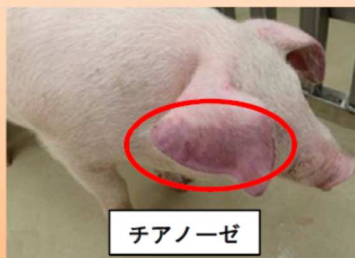
韓国では9月も発生確認

病状は多岐に渡り、甚急性では突然死亡、急性では発熱が見られます。

異状を発見したら直ちに通報しましょう！



死亡



チアノーゼ

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱(40～42℃)、皮下出血、脾臓の腫大、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。

写真出典：国立研究開発法人農業食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門

詳細情報はこちら(農林水産省HP)

CSFについて:



ASFについて:

